

花きの県別生産出荷概況(5月見通し)

品目	県名	作付面積ha (前年比)	主な品種	4月出荷見込み 千本		主産地	4月のピーク		
				全出荷量	京浜地域		上	中	下
アルストロメリア	青森県	1.76 (102%)	イーグル	142 (105%)	117 (106%)	藤崎町	40	40	20
	山形県	9.6 (95%)	アバランジェ エベレスト ピンクサプライズ プリマドンナ レベッカ、レモン 他	1,290 (90%)	640 (90%)	JA山形おきたま JA鶴岡 JAそでうら	40	30	30
トルコギキョウ	千葉県	5 (100%)	ボヤージュホワイト、レイナホワイト、 ピッコローサスノー、ソワレピンク他 八重品種が多数	70 (100%)	50 (100%)	館山市、鴨川市、 南房総市(丸山、千倉)	10	20	70
		2 (100%)	パステルシリーズ、セレブシリーズ、 海ほのか等	100 (100%)	100 (100%)	旭市	30	40	30
	静岡県	20 (95%)	ポレロホワイト レイナホワイト こころ 海ほのか	450 (95%)	300 (95%)	JA大井川 JAハイナン JA静岡市 JA遠州中央	30	35	35
	大分県	6 (100%)	レイナホワイト Mioシリーズ 他	250 (100%)	120 (100%)	国東 臼杵 大分 高田 杵築	20	40	40
	宮崎県	2.6 (104%)	ポレロホワイト ダイヤモンドピーチ サルサマリ	70 (142%)	- -	宮崎中央 日向	25	30	45
	熊本県		ミヨシ系 サカタ系 八江系など	833 (112%)	522 (103%)	熊本市 菊池 球磨など	28	34	38
バラ	青森県	1.22 (90%)		60 (93%)	59 (93%)	三戸町 新郷村 田舎館村 つがる市	20	40	40
	群馬県	15.2 (99%)	アヴァランチェ サムライ 他多数品種	1,050 (100%)	920 (98%)	前橋市 利根沼田 甘楽富岡	35	35	30
	山梨県	3.8 (100%)	サムライ ローテローゼ他	200 (100%)	190 (100%)	笛吹き市(御坂町)	35	35	30
	静岡県	40 (100%)	サムライ ローテローゼ アヴァランチェ	1,900 (100%)	1,700 (100%)	JA掛川市 JA大井川 JAしみず JA遠州夢咲	40	30	30
	愛知県		サムライ レッドスター アヴァランチェ ティネケ シンディ フレアー	3,600 (100%)	2,100 (100%)	愛知みなみ ひまわり 豊橋 西三河	35	30	35
	大分県	9 (100%)	Mシリーズ Jシリーズ 他	500 (100%)	200 (100%)	九重飯田 玖珠九重	30	30	40

品目	作柄及び概況	販売における現状と今後の見通し
アルストロメリア	<ul style="list-style-type: none"> 改植に際した栽培面積の増加により、総体の出荷量は増加する見込み。 本年は豪雪であったものの、3月の好天から順調な生育となっている。 気温の上昇や日射量の増加にともない、生育、開花が平年並みに進んでいる。5月の出荷量は、作付面積が前年よりやや少なくなっていることから、前年の90%程度と見込まれる。 病害虫の発生は少なく、切り花品質は良好である。 	<p>現状 愛知は各色潤沢な入荷となり安定的な入荷。山形、長野は夜の低温の影響から減少も見られたが、概ね順調な生育となり増加傾向。全体的には下旬にかけて増加。業務、小売の需要が高く、中値での取り引きとなった。</p> <p>見通し</p> <p>大田花き 各産地徐々に改植が進み、減少してくる。山形、北海道はシーズンのピークとなるため増加傾向となる見込み。 730,000本 @40</p> <p>FAJ 入荷量は増加傾向。長野、山形ともに出荷ピークとなる。</p> <p>東日本板橋花き 愛知、青森、福島中心の出荷。業務中心の動き。</p> <p>世田谷花き 母の日を境に、引き合い、入荷ともに落ち着く。</p> <p>第一花き 業務需要中心の中、厳しい販売。 @60</p>
トルコギキョウ	<ul style="list-style-type: none"> 生育は順調で4月上旬より出荷が始まっており、6月には本格化する見込み。 生育は概ね順調。 生育は例年並だが、面積減や病気などの被害もあるため、やや減少見込み。 母の日の出荷量は産地によって谷や山がくるため、例年より減少する見込み。 4月中は生育遅れで減少。15日より高田の出荷開始、下旬には臼杵、杵築の2番花が開始予定。ともに出始めのため少なく、5月中旬にまとまりそう。 5月下旬に向けて出荷量が増える見込み。生育は概ね順調。 上旬はL～2L中心、下旬はM、Lの割合が増える。 年末年始の天候不良の影響で、3月以降の天候により回復基調ではあるが一部産地で1～2週間の遅れが見られる。生育は順調で、品質等問題なし。出荷量は、遅れている産地もあるため昨年並み～若干減少する見込み。出荷ピークは5月上旬の見込み。 	<p>現状 国産に関しては徐々に増加傾向ではあるが、主力の静岡、熊本、福岡中心の入荷となる。上旬で台湾産の輸入の出荷終盤となると、業務系の注文が増え引き合いは強まった。</p> <p>見通し</p> <p>大田花き 母の日に向けた需要が多少なりともあるが、国産の入荷が増える見込みであるため、入荷量は例年並になり需要も落ち着く見込み。</p> <p>FAJ 5月中旬までは入荷量さほど増えず。相場は堅調となる見込み。下旬以降2番花の出荷本格化。</p> <p>東日本板橋花き 上旬の入荷は4月後半の天候次第。中、下旬になれば暖地の2番花増える。</p> <p>世田谷花き 高知、熊本、静岡、千葉などに加え、長野からの出荷始まり、全体量が増える。早生系の品種が中心。</p> <p>第一花き 入荷数、品種も増加し、品質も向上、母の日、プライダル需要中心の流れで季節商材でもあり、概ね昨年並みの流れ。 @130</p>
バラ	<ul style="list-style-type: none"> 近年の燃料費高騰の影響から、年々作付け面積は減少している。 冬期の大雪の影響もあり、整枝作業が遅れて推移しており、一部地域では5月のピークは母の日を過ぎる見込み。 生育は順調で作柄も平年並み、出荷量も前年並みの見込み。1年で最も出荷の多いシーズンとなる。 生育は順調である。 生育良好で、現状はどの産地も昨年より多めの出荷となっている。 天候次第ではあるが、母の日までは現状維持で推移する見込み。 生育状況は良好。気温も暖かく出荷も多い水準で、下旬までは安定した出荷が見込まれる。 5月もある程度安定した出荷が見込まれるが、多くはない見込み。 母の日明けに改植をする生産者も見られるが、毎年の傾向であるため、出荷量に大きな変化は見られないと思われる。 昨年と同程度の出荷見込み。上位から下位階級までそう。気温上昇に伴って出荷量は増加の見通し。 	<p>現状 西南暖地など、順調な生育状況で昨年より入荷が増加している。高冷地は低温管理されていた商品が開花してきており、母の日までにできてしまう可能性がある。山形県の一部の産地では、まだ出荷がまとまっていない産地があるので下旬にかけて入荷が増加。輸入品は母の日まで極少量の入荷が続く見込み。</p> <p>見通し</p> <p>大田花き ・2週目に母の日需要があるので、増加する見込み。しかし、温暖が続くと母の日需要前に出荷が終わってしまう可能性がある。 ・輸入品は2週目から本格的な出荷が始まるが、円相場の関係で昨年より少ない見込み。</p> <p>FAJ 引き続き、宴会需要で安定した相場での取り引きが続く。静岡、栃木、愛知などより入荷。</p> <p>東日本板橋花き 5月、各産地出揃ってくる。潤沢な入荷が見込まれるが、天候の影響で品質差が出てくる懸念される。</p> <p>世田谷花き 連休中、プライダル需要に期待。母の日に向け数量増。高単価に期待。人何状況によるが、母の日、プライダル需要中心の流れで、概ね昨年並みの流れ。</p> <p>第一花き スタンダード@110。スプレー@100</p>